



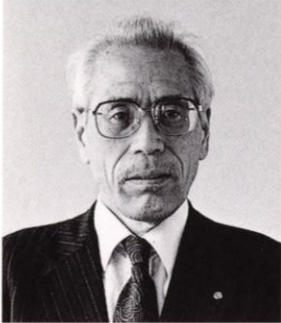
金澤北ロータリークラブ



ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

金沢北ロータリークラブの マイクrophon

乙 村 舜 吉



暫く沈黙が続いた…、「この件に関してNHKとしては、オトムラが担当する事を条件に一步譲ることにします。」

NHK金沢放送技術部長の発言で、第46回国民体育大会の夏季大会及び秋季大会における総合開会式・閉会式の音響総括担当が異例の決定をした瞬間だった。

全国を持ち回りとして毎年開催されている国民体育大会が、終戦直後の昭和21年第1回京都国体、昭和22年第2回金沢国体を皮切りに全国を一巡したあと、二巡目の第46回を石川県に迎えた平成3年（1991年）のことであった。

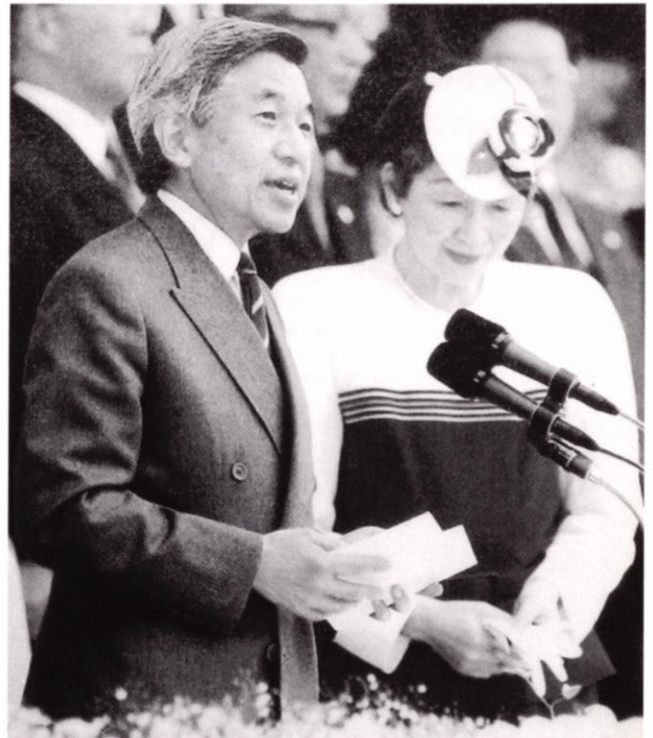
国民体育大会の総合開会式・閉会式は過去45年間すべてNHKを中心に大手広告代理業・音響メーカーなどが一部地方業者を下請けに使うなどして行われて来た。そして第47回以後も石川国体の異例は行われていない。来年は第60回を迎える、つまり約60年におよぶ国体歴史の中で、総合開会式で恒例の天皇陛下のお言葉を民間業者のマイクでお受けしたのは石川国体ただ1回だけということになる。

全国植樹祭での昭和天皇：全国高校総体（インターハイ）、自然公園大会などでの当時皇太子であった今上天皇：全国育樹祭での皇太子殿下などなど、その他各皇族方のマイク収録についても数多く経験した我が社としては珍しい事ではないが、この時の天皇陛下のお言葉はNHK（全国放送）はじめ民放各社・映画会社・新聞その他マスコミ各社・次期開催県などへ38回線に分配して各社へお渡ししたものです。

その時のマイクが毎週我がクラブの例会場で人間国宝三代魚住為楽・人間国宝大場松魚・

長谷川塑人・坂下直大各先生方共同製作の「銅鑼」と並んで演台で使われているマイクなのです。マイクスタンドも、その時私が設計図を描いて木型・鋳物から作って使用したものです。

金沢北RCの会報へ寄稿を奨めて頂いたこの機会に、石川国体の特異性を示す裏話の一部を幾つかご披露させて頂きたいと思います。



おことはを述べられる天皇陛下

◎式典を飾る音楽隊

石川国体ではファンファーレ隊・式典音楽隊・合唱隊・郷土民謡を含め総勢1200人を越える大音楽隊が編成された。その為、音楽隊の間ですら音速による音ずれが生じた。

◎集団演技の音楽

集団演技は開催県によってそれぞれ内容が異なるので、毎回作曲家の方々によりその都度新たに作曲されたものをプロのオーケストラなどで録音して、その音楽がリハーサルも本番も使用されていた。

石川国体でも近衛秀麿先生を筆頭に10人近くの作曲家の方々により作曲されました。しかし石川国体では本番は勿論リハーサルも全て県内高校生などを中心として編成された音楽隊の生

演奏で行うことになっていたのに、編曲と演奏の確認の為に作曲家の先生方全員がリハーサル又は本番に石川へ訪れられました。リハーサルで編曲を手直しされた方や、複数回足を運ばれた方もいらっしゃった。

◎集団演技のリハーサル

合同リハーサルは何回も実践倫理記念会館その他で行われた。県内ほとんど全域から集まるメンバーの輸送と楽器類の運送の為にその都度バスとトラック約70台位動員されていた。メンバーの弁当の手配だけでも大変だったと思う。前開催県では全く見かけない光景だった。総合リハーサルは当然の事ながら、本番と全く同じ規模で行われた。

◎非常対策

予期せぬ非常事態に対応するために電源などの、複数の準備をした。

又、音楽隊などの咄嗟のハプニングに対応するために総合リハーサルの時全曲を録音しておき、本番では生演奏と平行して録音テープを走らせ、然もつききりで生演奏とスピードの同期をとりながら、瞬時に切り替えが出来るように対策した。

◎開会式に於ける各県選手団の入場行進

本番間近のある日、実行委員会事務局からの話
前開催県での「打ち上げ反省会」で出た問題で。以前から選手団の入場行進が総合得点の採点対象になっている件について、音速と反射音の関係で行進隊列がどの音にあわせれば良いのか判らない。「もし次期開催県の石川でも同様の状態だったら採点対象を拒否しよう。」と云う動議が出たというのだ。

前開催県福岡は勿論、奈良・愛知・京都など先開催県を視察した私自身も既に感じていた問題だが、採点対象になっている事については私自身不明であった。

しかしこの問題は昭和60年インターハイを担当した時点で実績があるので、事務局としても自信を持って話を受けてきたと言って頂けた。

勿論話題になった問題なので今回は更に音速との同期補正を慎重にやったので、「石川国体の反省会」では音響技術の問題だとして各県代表に納得していただけた、とお褒めをいただいた。

◎異例の裏に県民性

この異例が行われた事は単に石川国体や一音響業者の問題ではないと思います。

芸術や芸能などの分野で顕著に見られるように、石川県民に深く根ざしているこだわりの心と言うか高い文化水準とそれを支える底辺の層の厚さからくる要求から必然的に生み出された事態だと思います。(異例と云うが石川では当たり前のこと)

そしてその具体的な結果が、総合成績に於いて天皇杯(男女総合成績)・皇后杯(女子総合成績)同時受賞という快挙につながったと云えるのでは無いでしょうか。

◎恥ずかしいこぼれ話

本番が始まっていた、私の隣に石川県出身で集団演技総括演出者の佐々木守(シナリオライター)氏がいらっしゃった。そこへ地元某新聞記者が名乗って取材に来た。

記者「こりゃ一体何やっているんですか」

一瞬、間をおいて佐々木氏静かに「勧進帳だよ」

記者「勧進帳って何ですか」

佐々木氏「・・・」

佐々木氏そのあと一言も口を開かれなかった。

第1509回例会

9月30日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話

金沢高等学校 理事長 駒谷良雲氏
「高校野球あれこれ—その2」

2. 出欠

出席 40 名 欠席 33 名 出席率 54.79 %
ビジター 6 名

3. 来訪者(敬称略)

金 沢 RC 横山英勝
金 沢 東 RC 長田 稔
金 沢 西 RC 中村吉輝 駒谷良雲 坂井美紀夫
み な と RC 小村利幸

ニコニコボックス

近藤ガバナー、本崎地区副幹事、藤田ガバナー補佐
ガバナー公式訪問に伺って。

金沢RC 蚊谷八郎君

先日は、貴クラブ主催の川奈ゴルフツアーに、あつかましくも参加させて頂き、誠にありがとうございました。特に、松本、長原会員には大変お世話になりました。お礼申し上げます。

上田君 10回シリーズの2回目の講師として、駒谷理事長さんをお迎えして。

濱井君 講師に駒谷先生をお迎えして。又、この度の地区大会に大勢の会員の皆様の登録を頂き、有難うございました。

松本君 ゴルフ同好会、旅行同好会の総数23名の川奈旅行は無事終わりました。

山上君 この前のロータリーの麻雀大会で役満のスーアンコーつもりました。

川面君 北遊会で初めて優勝させて頂きました。振り返りで頂いた方、大変有難うございました。

木下君 ちょっと良い事がありましたので。

合計 22,000円 (累計 345,000円)

第1510回例会 創立31周年記念

10月7日(木) 晴れ 12:30~13:00 松魚亭

1. 講話

野々市町立布水中学校 校長 中島 満氏
「在外教育施設・日本人学校について」

2. 出欠

出席 48名 欠席 25名 出席率 65.75%
ビジター 2名

3. 来訪者(敬称略)

金沢RC 森 泰夫
金沢南RC 松本 要

4. 幹事報告

・米山奨学生オムさん、来会

5. 皆出席顕彰(敬称略)

31ヵ年 俵外代吉、米澤修一
23ヵ年 合田昌英
14ヵ年 錢亀賢治
13ヵ年 沢田光夫
8ヵ年 濱井弘利
2ヵ年 川面正雄

6. お誕生日祝い(敬称略)

1日 西方征夫
2日 玉田善明
8日 合田昌英
9日 米澤修一
14日 乙村舜吉

16日 渡邊 聰

31日 高岡 昇

7. 結婚記念日祝い(敬称略)

6日 上野雅司

7日 中田秀雄

13日 魚住安彦

16日 山上公介

17日 飯田安彦

18日 坂口幸市

19日 中村實博

20日 桜田鉄次

25日 高岡 昇

26日 高島 聰

27日 安宅雅夫

31日 長谷川塑人、川面正雄

ニコニコボックス

魚津RC 奥村朋宏君、谷川文詔君

多数の方の地区大会登録をお願い致します。

高島君 初めての会長代理です。宜しく。講師に中島先生を迎えて。

濱井君 布水中学校校長中島先生をお迎えして。又、松本さん、長原さん、この前の伊豆・箱根旅行では大変お世話になりました。

合田君 中島先生、ご苦労様です。

錢亀君 本日のゲスト、中島先生、今回のお話もしみにしています。

米澤君、俵君

31ヵ年の皆出席顕彰を受けて

沢田君 入会してあつという間に13年経ちました。今後とも皆様のご指導の程宜しく願います。

中谷君 9月30日の会報に「私の歩いてきた道ー老いと老人」が載りました。

米澤君 誕生祝に記念品を頂戴して。錢亀さん有難う。

渡邊君 誕生日のお祝い有難う。

安宅君 川奈へのゴルフ遠征、とても楽しい思い出になりました。ついでに、私と娘とダブル優勝までさせて頂き、申し訳ありません。ご参加の皆様に感謝いたします。

吉井君 東山茶屋街の文化財建造物の保存修理工事が進捗し、先ごろ韓国の人気女性グループ「シュガー」と一緒にチョッピリ、テレビ番組に写りました。

合計 25,000円 (累計 370,000円)

9月クラブ日誌

2日(木) ガバナー公式訪問

松魚亭にて

9日(木) 9月定例理事会

松魚亭にて



会長: 上田 忠信

会長エレクト: 高島 菊丸

副会長: 米沢 真二

幹事: 濱井 弘利

副幹事: 勝田 浩之

S A A: 汐井 俊彦

会計: 木村 功一

広報委員長: 二塚 長生

会員数: 73名

クラブ設立: 昭和48年10月3日

例会日: 木曜日 12:30~13:30

例会場: 松魚亭 金沢市東山1-38-30

TEL<076>252-2271 FAX252-2273

事務局: 金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内

TEL<076>222-2525 FAX224-2882

